

近 畿 地 方 整 備 局
資 料 配 布

配 布 日 時	平成 1 9 年 6 月 6 日 1 4 : 0 0
---------	-------------------------------

件 名	「CO ₂ 削減アクションプログラム」重点地区が追加選定されました
-----	--

概 要	国土交通省では、特に、渋滞によるCO₂排出量が多く、CO₂削減に向けた取り組みの効果が大きい地域については、<u>CO₂削減アクションプログラムの‘重点地区’に選定</u>しています。 近畿地方整備局管内では、<u>平成 1 8 年度に、3 地区が重点地区に選定され</u>ており、自治体、関係団体と連携しながらエコドライブの普及、公共交通機関の利用促進などの各種取り組みを実施しているところです。 <u>平成 1 9 年度は、さらに 3 地区が追加選定され、合計 6 地区を重点地区として、さらなるCO₂削減に向けた取組の推進を図ります。</u>
-----	---

取 り 扱 い	テレビ・ラジオ：－
	新 聞：－

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
---------	----------------------------------

問 い 合 わ せ 先	国土交通省 近畿地方整備局 道路部 計画調整課長 田中 貢 電話：0 6－6 9 4 2－1 1 4 1（内線 4 3 1 1） 0 6－6 9 4 7－7 4 4 0（直通）
-------------	--

○「CO₂削減アクションプログラム」とは

京都議定書目標達成計画での運輸部門における目標値は約250百万t-CO₂/年となっていますが、2005年時点から2010年までに、自動車交通需要の拡大とこれに伴う渋滞などにより、CO₂排出量は約8百万t-CO₂/年増加すると推計されています。

そこで、2005年時点から2010年にかけて約8百万t-CO₂/年を道路政策により削減し、京都議定書目標達成計画の目標の達成を図るため、環状道路等の幹線道路ネットワークの整備等のハード施策や、エコドライブ等国民と連携した取組み推進のためのエコロード・キャンペーン（URL：eco-road.jp）等のソフト施策を体系的かつ集中的に実施する『CO₂削減アクションプログラム』を推進しています。

○CO₂削減アクションプログラムの‘重点地区’

特に、渋滞によるCO₂排出量が多く、CO₂削減に向けた取組みの効果が大きい地域については、CO₂削減アクションプログラムの‘重点地区’に選定して、エコドライブや公共交通機関の利用促進など国民と連携した施策を実施しています。

近畿地方整備局管内では、平成18年度に別紙の3地区が重点地区に選定されおり、自治体、関係団体と連携しながらエコドライブの普及、公共交通機関の利用促進などの各種取組みを実施しているところです。

○平成19年度の追加選定

平成19年度は、さらに、別紙の3地区が追加選定され、合計6地区を重点地区として、さらなるCO₂削減に向けた取組みの推進を図ります。

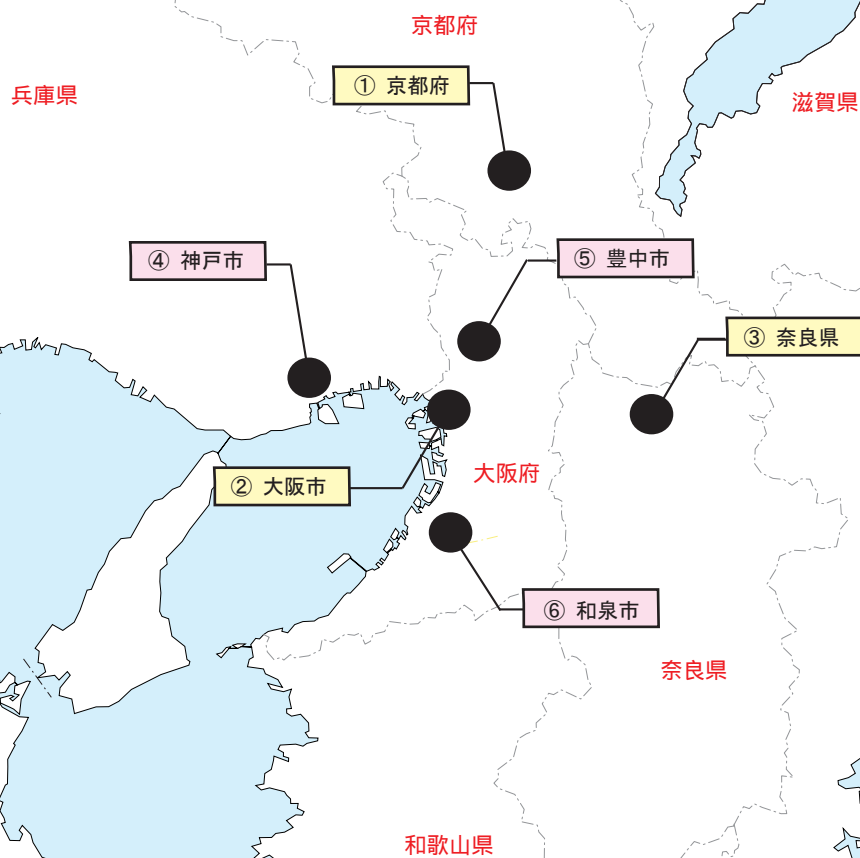
平成18年度重点地区選定地区（継続）

件名	エリア	実施主体	取組み内容	情報発信の目的
① 京都都市圏におけるCO2排出削減に向けた広報実施計画	京都府域	京都都市圏CO2排出削減広報検討会議事務局	各種講習会における情報提供	京都府民向けMMとして、「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト（京都）」の広報啓発を行う。
	京都府亀岡市域	南丹地域交通社会実験推進会議事務局	MMエコドライブ	・公共交通の利用促進 ・京都縦貫自動車道の利用促進 ・エコドライブの普及
② MM・エコドライブの推進に係わる広報について	大阪市港区	「環境にやさしい交通を進めるプロジェクト」検討会	MMエコドライブ	・環境にやさしいクルマの使い方を促すコミュニケーション活動の実施 ・公共交通の利用促進 ・阪神高速5号湾岸線等、高速道路の利用促進 ・エコドライブの普及
③ 古都奈良のCO2（MM）についての広報	奈良市域	奈良県モビリティ・マネジメント協議会	MMエコドライブ	・公共交通の利用促進 ・パークアンドサイクルライド ・エコドライブの普及

平成19年度重点地区追加選定地区

件名	エリア	実施主体	取組み内容	情報発信の目的
④ 社会実験を通じた公共交通利用促進によるCO2削減プロジェクト	神戸市都心・ウォーターフロント地域	神戸市（※協議会設立予定）	MMエコドライブ	・エコドライブの普及 ・公共交通の利用促進 ・パークアンドライド ・都心部の活性化 （環境に優しい公共交通に対する市民の関心を高めることや、新たな公共交通導入による地元商業施設や自動車交通への影響把握を目的に実験バスを運行）
⑤ CO2削減！エコロードキャンペーン（豊中市）	豊中市域	豊中市他（豊中市ESTビジョン策定委員会）	MM（交通環境学習）エコドライブ	・エコドライブの普及 ・公共交通の利用促進 （みちから環境問題を学び、行動する動機付けを五感に訴える。）
⑥ 和泉市における市民、事業所、学校、行政団体等が協働する環境負荷の少ない交通マネジメント推進	和泉市域	公共交通利用活性化プロジェクト委員会	MMエコドライブ	・エコドライブの普及 ・公共交通の利用促進 ・交通・環境学習の推進

「CO2削減アクションプログラム」重点地区の
実施地域一覧（地図）



平成18年度
選定箇所（継続）

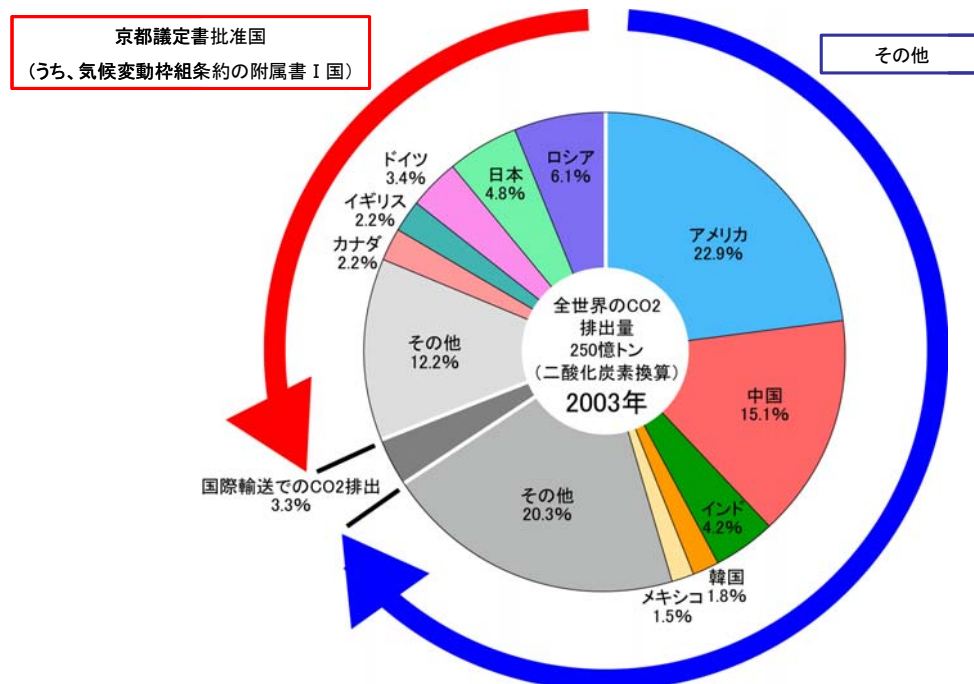
平成19年度
追加選定箇所

「CO2削減アクションプログラム」の概要

【日本におけるCO2排出の現状】

現在、我が国のCO2排出量は、世界全体のCO2排出量の約5%を占めます。2005年2月には、2008年～2012年の温室効果ガス（CO2、メタン、一酸化二窒素、フロン等3ガス）排出量の5年間の平均値を1990年の水準から6%削減させる内容を盛り込んだ京都議定書が発効しました。温室効果ガス排出量が増加傾向にある中、6%削減の確実な達成を図るために必要な措置を定めるものとして、同年4月に「京都議定書目標達成計画」が策定されました。

●世界全体に占める我が国のCO2排出量割合



OECD/IEA CO2 Emissions from Fuel Combustion, 2005 Edition

●京都議定書目標達成計画の策定までの経緯

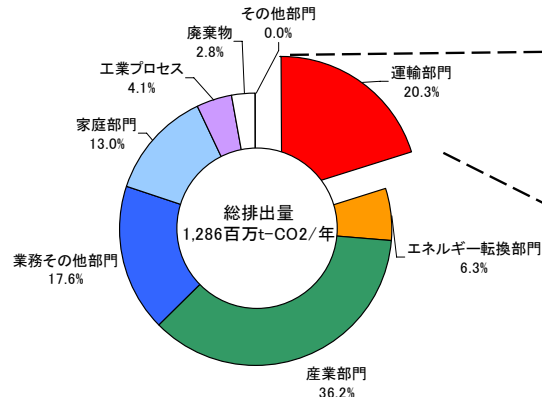
1997(H 9) 年	12月	京都議定書の採択 ◇先進国全体 1990年比 5%削減 (2010年) ◇日本 1990年比 6%削減 (2010年)
1998(H10) 年	6月 10月	地球温暖化対策大綱の策定 地球温暖化対策推進法の成立
2002(H14) 年	6月	京都議定書の締結
2005(H17) 年	2月 4月	京都議定書の発効 京都議定書目標達成計画の策定

「CO2削減アクションプログラム」の概要

【運輸部門からのCO2排出の現状】

運輸部門からのCO2排出量は、全CO2排出量のうちの約2割を占めます。運輸部門からのCO2排出量は2001年をピークに減少傾向であり、京都議定書目標達成計画の目標達成まで、2005年から2010年の間にさらに、運輸部門で約700万t-CO₂/年の削減が必要です。

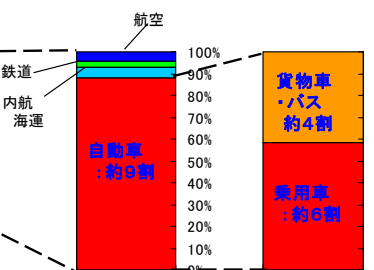
●我が国の部門別CO2排出量内訳



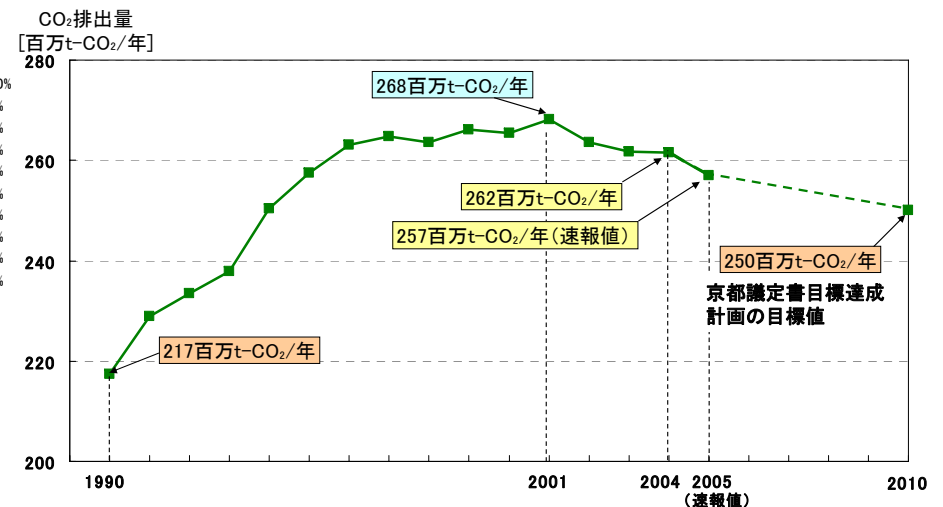
部門別CO2排出量内訳
(2004年度)

出典: 温室効果ガスインベントリオフィス (GIO) 公表値より作成

●運輸部門CO2排出量の推移



運輸部門CO2排出量内訳
(2004年度)



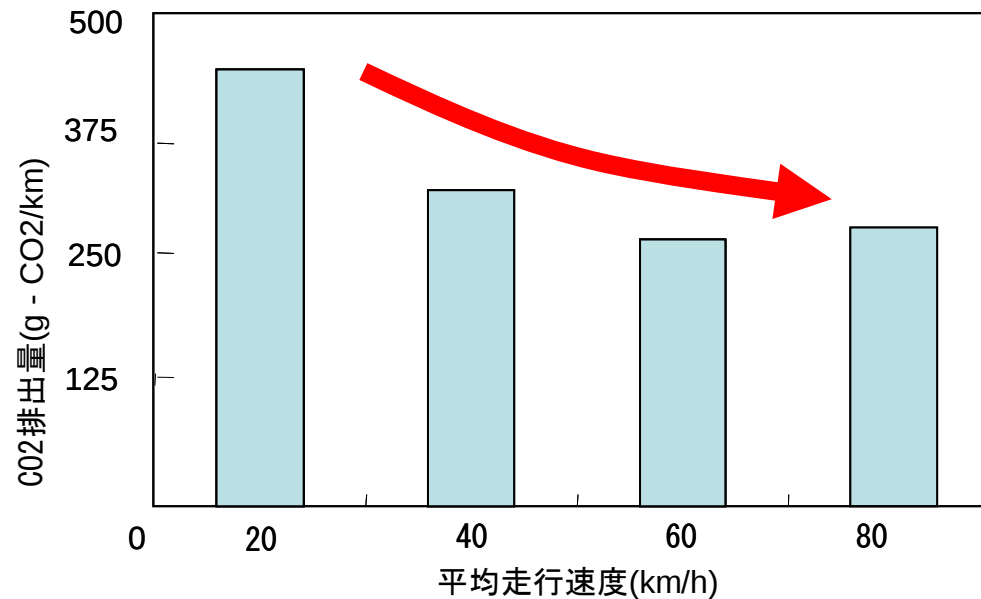
出典: 温室効果ガスインベントリオフィス (GIO) 公表値、
環境省報道発表資料 (2006.10.17)、京都議定書目標達成計画より作成

「CO2削減アクションプログラム」の概要

【自動車交通からのCO2排出量削減の手段】

自動車交通からのCO2排出量を削減する手段は、①需要をコントロールして自動車の総走行量を適正化すること、②走行燃費の向上等を通じて1台あたりのCO2排出量を減らすことの2つに大別されます。同じ走行量でも1台あたりのCO2排出量を削減するためには、自動車の単体燃費の向上と並んで、走行速度の向上等による実走行燃費の向上が有効です。

●平均走行速度とCO2排出量の関係



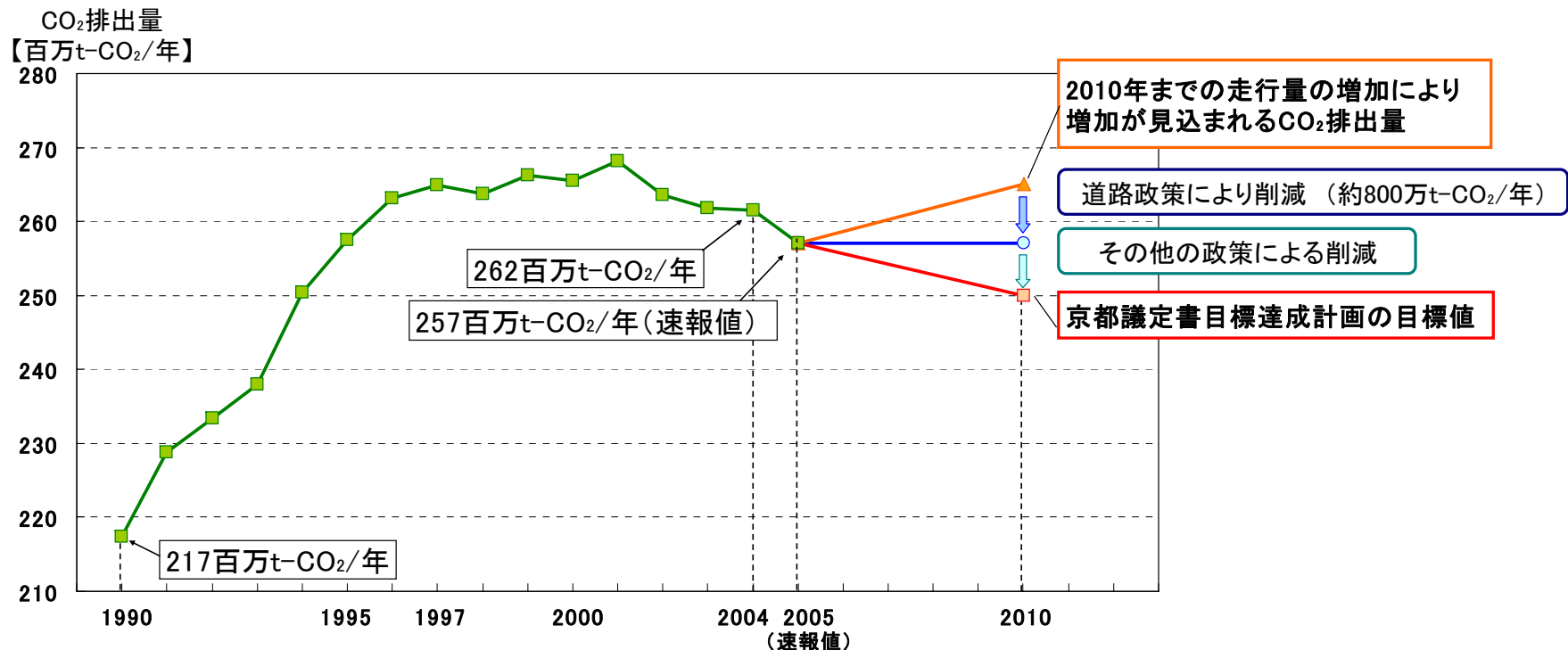
出典:国土技術政策総合研究所資料より作成

「CO2削減アクションプログラム」の概要

【当面のCO2削減目標】

今後、2010年までに自動車交通需要の拡大とこれに伴う渋滞により、CO2排出量は約800万t-CO₂/年増加すると推定されます。これに対して、CO2削減アクションプログラムに盛り込まれている主要渋滞ポイント対策、環状道路整備、ITSの活用促進等の確実な遂行により2005年時点から2010年までに、約800万t-CO₂/年のCO2排出量削減を図り、他の施策とあわせて京都議定書目標達成計画の目標を達成します。

●CO2削減アクションプログラムによる削減目標の達成



出典: 温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)公表値、
環境省報道発表資料(2006.10.17)、京都議定書目標達成計画より作成

「CO2削減アクションプログラム」の概要

【施策の体系】

当面の目標800万t-CO2/年のCO2排出量の削減に向けて、2012年までの期間に下記に示す施策を実施していきます。

